

がんばってます！  
**まちのものがづくり企業**



社長 中島 洋彦 氏



「自慢のコーヒーを味わっていた  
だきながら、買い物もできて芝居も  
観ることができる施設として、観光  
客の集客に努めてきました。コー  
ヒー園は宝の山、笑いは無料の健康  
法。皆さんにもぜひ足を運んでい  
たきたい。」と思いを語られました。

## コーヒー園は宝の山 笑いは無料の健康法 長崎スコーコーヒーパーク

**コ**ーヒー伝来の地長崎。その地でコーヒーをこよなく愛  
する中島社長が、日本初の観光コーヒー園「長崎スコー  
コーヒーパーク」を設立しました。国道端にそびえるガラス張  
りの大温室には、コーヒーの木をはじめ、さまざまな種類の南  
国フルーツの木が生い茂っていて、南国ムード漂う楽しめる施  
設として市内外からたくさんの方の観光客が訪れます。

アメリカ生まれの父の影響で小さい頃からコーヒーに親し  
んでいた中島社長。昭和40年、コーヒーへの情熱を捨てきれず、  
前職を退職後に大村で初のコーヒーショップを立ち上げまし  
た。それにとどまらず、コーヒーに関する文献を読みあさり試  
行錯誤を繰り返しながら日夜研究を続け、ついにコーヒー豆  
の栽培に成功しました。昭和55年に現在の寿古町に移転し、大  
温室で約200本のコーヒーの木を育成しています。

コーヒーの木は、毎年4月から9月にかけて白い花を咲かせ  
るそうで、その10か月後に実が真っ赤に色づき収穫期を迎えま  
す。収穫したコーヒーの実を、果肉と種に分離され、種は天日  
乾燥、焙煎を経てコーヒー豆になります。この豆を使った上質  
のコーヒーは、隣接するレストランで味わうことができます。

中島社長は非常に研究熱心で、さまざまな商品を開発して  
きました。コーヒーにはいろいろな体に良い成分が含まれてい  
るそうで、普段使われないコーヒーの果肉をジャムにして販売  
しています。このほか、コーヒーカステラやキャンディなど、社  
長のアイデアを基に新商品を作り上げています。

さらに、中島社長には、観光客を楽しませる究極のアイデア  
があります。それは大温室の中の木々をくぐり抜けるとス  
テージが完備されていて、コーヒーパークを訪れた団体のお客  
さんに、自作の浪曲芝居を披露することです。「温室を見ても  
らうだけではおもしろくない。」との思いで15年程前からショー  
を始めたそうで、ツアー客など多い時で一日バス8台が訪れる  
そうです。新商品の開発はもちろん、訪れていただくお客さま  
に楽しんでいただくため、中島社長の挑戦は続きます。

長崎スコー  
コーヒーパーク  
(有)中島珈琲本社  
寿古町813-1  
☎554850

